

平成 26 年 3 月 7 日（金）

国土交通省関東地方整備局
国営アルプスあづみの公園事務所

記者発表資料

国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）

「田園文化ゾーン北地区」 4 月 26 日（土）開園

本公園（堀金・穂高地区）の「田園文化ゾーン北地区」が、平成 26 年 4 月 26 日（土）に開園します。

新しい施設の概要をご紹介します。

●「田園文化ゾーン北地区」の概要

堀金・穂高地区の既開園区域の北側に隣接する約 17ha の区域で、北アルプス常念岳（標高 2857m）を源流とし、安曇野の大地を潤す烏川の左岸に位置しています。

本区域には、安曇野の民話をモチーフとした「アスレチック遊具」、ツリーデッキやロープ渡りなどの「冒険遊具」、早春賦音楽祭など文化的行事の拠点となる「円形ステージ」、安曇野の自然と歴史を学べる「トレイル」、ナノハナやシダレザクラによる花修景など、遊び・学びを通じて安曇野の風土を感じて頂ける施設を整備しています。

今回の開園により、大町・松川地区と合わせて、公園全体の計画面積約 349ha のうち約 148ha が開園することとなります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場
松本市政記者クラブ、地方新聞記者会、大町市市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営アルプスあづみの公園事務所

調査設計課長 大塩 俊雄（おおしお としお）
電話：0263-83-8671

(参考)

「国営アルプスあづみの公園」の概要

1. 公園概要

本公園は、長野県北西部の安曇野地域に位置し、長野県内をはじめ、広く大都市圏の人々の多様なレクリエーションニーズに対応することを目的として国が設置する都市公園（国営公園）であり、次の2地区で構成されています。

「堀金・穂高地区」：失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元し、いつでも計画面積 94ha その風景にふれたり、「安曇野」という地域の自然・文化を短時間で体験できる地区

「大町・松川地区」：日本を代表するアルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、その自然環境を学び、体験し、参加できる地区
計画面積 255ha

現在、平成26年4月開園に向け堀金・穂高地区田園文化ゾーン北地区の整備を進めるほか、両地区とも平成27年度の整備完了を目指し、整備を進めています。

(1) 公園の位置



交通のご案内

「堀金・穂高地区」

長野自動車道安曇野 I.C から約 8km (車で約 20 分)

J R 大糸線豊科駅、穂高駅から約 6km (タクシーで約 15 分)

信州まつもと空港から約 23km



「大町・松川地区」

J R 大糸線信濃大町駅から約 8km (タクシーで約 20 分)

J R 大糸線信濃松川駅から約 6km (タクシーで約 15 分)

(2) 整備経緯

平成 2 年 11 月 都市計画決定

平成 10 年 10 月 工事着手

平成 16 年 7 月 「堀金・穂高地区」の一部 (約 27ha 開園)

平成 21 年 7 月 「大町・松川地区」の一部 (約 79ha 開園)

平成 25 年 9 月 「大町・松川地区」の一部 (約 25ha 開園) 開園面積約 131ha

(3) 入園者数

平成 22 年度 約 43.5 万人 (HH:29.9 万人、OM:13.7 万人)

平成 23 年度 約 52.2 万人 (HH:36.3 万人、OM:15.9 万人)

平成 24 年度 約 46.2 万人 (HH:28.6 万人、OM:17.5 万人)

※ () 内の HH は堀金・穂高地区、OM は大町・松川地区

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合があります

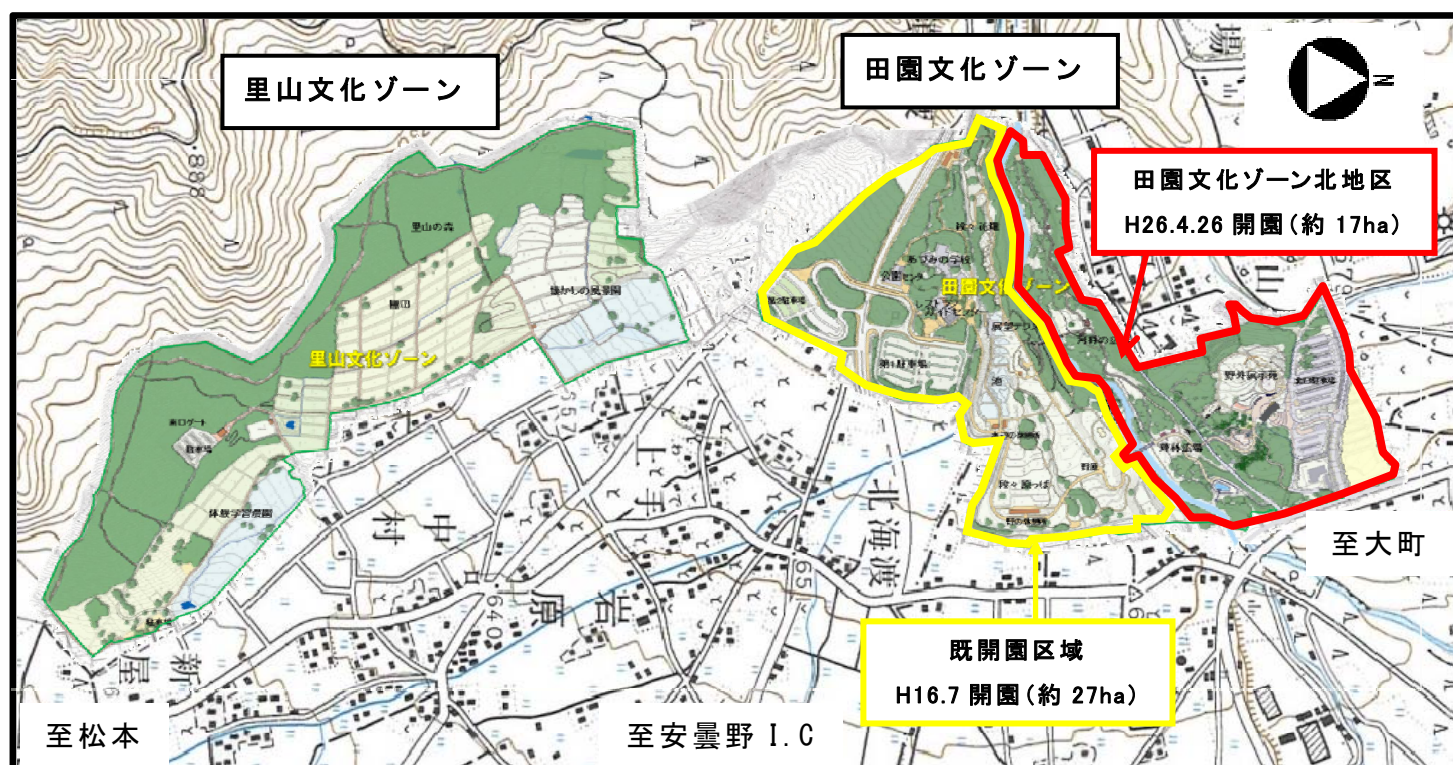
2. 堀金・穂高地区の概要

堀金・穂高地区は、「田園文化ゾーン」と「里山文化ゾーン」の2つのゾーンからなり、今回の開園により「田園文化ゾーン」の整備が完了します。また、「里山文化ゾーン」については、平成27年度の整備完了を目指しています。

「田園文化ゾーン」：安曇野地域の田園風景や常念岳を中心とするアルプスの山岳景を楽しみながら、豊かな水と大地が育んだ文化にふれることができる安曇野の自然と文化のインフォメーションの中心となるゾーン

「里山文化ゾーン」：安曇野に伝わる懐かしい里山風景を再現しながら、人の生業のなかで育まれてきた生き物の保全、技術・文化などの体験機会の提供を通じて、安曇野の風土の継承につなげていくゾーン

(1) 計画図



(2) 田園文化ゾーン北地区の整備概要

今回の開園する区域は、平成21年度から整備に着手し、現在までに整備が完了している施設は次の通りです。

- | | |
|-----|------------------------------|
| 建物 | ゲート1棟、トイレ3棟、四阿2棟 |
| 橋梁 | 溪流連絡橋、烏川吊り橋 |
| 広場 | 竜の広場、溪流広場、疎林広場、吊り橋前広場、吊り橋下広場 |
| 花畑 | 菜の花、チューリップなどを植栽 |
| 駐車場 | 第3駐車場 309台、第4駐車場 60台 |

また、開園に向けて、こどもの森の遊具、円形ステージ周りの舗装、臨時駐車場、サイン、管理柵等の整備を進めています。

なお、施設の詳細については、別紙をご覧ください。

田園文化ゾーン北地区の概要

別紙

安曇野の民話をモチーフとした「アスレチック遊具」、ツリーデッキやロープ渡りなどの「冒険遊具」、早春賦音楽祭など文化的行事の拠点となる「円形ステージ」、安曇野の自然と歴史を学べる「トレイル」、ナノハナやシダレザクラによる花修景など、安曇野の自然と文化を短時間で体験できる拠点として、遊び・学びを通じて安曇野の風土を感じて頂ける施設を整備。

① 円形ステージ

早春賦音楽祭をはじめ市民団体等による行催事に利用頂けるステージです。



② 花畑(はなばたけ)

常念岳を眺望できる芝生広場の一面に設けた花畑に、安曇野の春を象徴するナノハナなどを植栽しています。



③ こどもの森

安曇野の民話(八面大王、泉小太郎、デラボッチャ)をモチーフとしたアスレチック遊具があり、公園周辺の民話に纏わる名勝地を知ることができます。



凡例

今回開園区域

田園文化ゾーン



④ 竜の広場(りゅうのひろば)

工事区域から出てきた巨礫を活かし、竜の背骨風になべた広場で、秋の紅葉も楽しむことができます。



⑤ 溪流広場(けいりゅうひろば)

常念岳を源流にもつ鳥川に面した親水広場で、自然観察プログラムや水遊びのフィールドとして楽しめます。



⑥ 石切跡の小径(いしきりあとのこみち)

江戸時代に建設材料などとして切り出された跡がそのままの形で残る花崗岩が点在しています。



主要施設

施設状況: 穂高口(ゲート)1棟、トイレ3棟、四阿2棟、橋梁2橋、園路延長2.9km

旧穂高町側に、本公園の新しいゲートとなる「穂高口」を設置。鳥川の対岸に位置する既開園区域とは、2本の橋(溪流連絡橋、鳥川吊り橋)を架けて連絡しており一体利用が可能。



穂高口



溪流連絡橋



鳥川吊り橋

石切り場跡